

令和2年度 秋田市まち・ひと・しごと創生
総合戦略検証委員会 会議録

日 時 令和2年8月26日（水）午後3時40分～午後4時30分

会 場 秋田市役所5階 第3・第4委員会室

出席者

秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会委員

山口邦雄委員、進藤史明委員、佐藤裕之委員、黒崎義雄委員、山崎純委員

市側

企画財政部長、企画財政部次長、総務部次長、観光文化スポーツ部次長、市民生活部次長、福祉保健部次長、保健所次長、子ども未来部次長、環境部次長、産業振興部次長、建設部次長、都市整備部次長、教育次長、人口減少・移住定住対策課長

次 第

1 開会

2 企画財政部長あいさつ

3 議事

(1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について【資料1-1、1-2】

(2) 地方創生交付金および地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業の進捗状況について【資料2-1、2-2】

(3) その他

4 閉会

1 開 会

2 企画財政部長あいさつ

3 議 事

人口減少・移住
定住対策課長 **議事(1)秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について(資料1-1、1-2に基づき説明)**

山口会長 資料1-1、1-2について、事務局への確認や質問等を含め、意見等はないか。

山崎委員 合計特殊出生率について、コロナの影響を考えると、今年度は生み控えが予想されることから、令和2年度目標値を達成できないかという評価よりも、今この状況下でも出来る対策を実施し、安心して生み育てられる環境を整えることが大切と考える。特に、出産後の支援が不足しており、出産から退院までの日数が短く、赤ちゃん訪問が実施されるまでの空白期間が課題と感じている。

保育士人材確保事業について、本市の保育士確保の現状はどうか、また、現在、保育士になるには養成校へ入るか、自ら資格を取得するかのどちらかであり、社会人向けに保育士養成講座を開催するなど、新たに保育士資格を取得してもらうという手法も、発想の一つとしてあるのではないか。

放課後児童クラブについて、今後、さらなるニーズの高まりが予想されるが、指導員の質や遊び場の確保という課題に対しては、どのように考えているのか。

子ども未来部
次長 1点目の出産後の支援については、来年度、産後ケアに係る事業を実施する方向で検討している。

2点目の保育士人材の確保については、現在、保育士人材バンクに登録中で、就労を希望する方に対して斡旋を行っている。今年は、Aターンフェアがコロナの影響で中止になったものの、代わりに実施した市立高校を対象としたセミナーに20名超の参加があり、そのうち約8割が将来保育士になりたいとアンケートに回答していたことから、本市に定着してくれればと思っっている。また、社会人の保育士資格取得という新たなアイデアについては、講座の開設、あるいは通信教育への助成等について、参考とさせていただきたい。

3点目の放課後児童クラブについては、年々需要が高まっており、地域の需要を見極めながら整備を進めたいと考えており、

	本市小学校の校長経験者をコーディネーターとして配置し、巡回指導を行っていることから、今後も質の向上について強化してまいりたい。
山崎委員	保育士数は足りているのか。
子ども未来部次長	市全体としては、若干不足しているとの認識だが、各施設ごとに状況が異なることから、引き続き人材確保に努めてまいりたい。
進藤委員	集落営農組織経営体数という指標について、達成が難しいのであれば、次期総合戦略においては、事業規模・市場の拡大や、品目の増加等への変更を検討してはどうか。
山口会長	県全体では上手くいっている印象だが、県都である秋田市の場合は、他市町村と比較した場合、状況は異なるのか。
産業振興部次長	<p>「認定農業者および集落営農組織経営体数」という指標は、法人化が進んだ場合、経営体数が増加する一方で、認定農業者が法人の構成員となって減少することから、次期総合戦略では見直したいと考えている。</p> <p>県全体で見ると、本市は大規模農家が少なく、少量多品目という特徴がある。本市の強みとしては、近くに大きな消費地があることと、駅や空港等が近く、人を呼び込みやすいことである。農業は、比較的コロナの影響を受けていない分野と捉えているが、引き続き支援してまいりたい。</p>
進藤委員	当社では、高校生を採用しているが、事務職の応募が多く、営業職や技術職が少ない状況が続いている。今後、事務の仕事がなくなると言われているものの、旧態依然とした教育、人材育成の仕組みとなっており、今の仕事とマッチしていないことから、専門人材の育成が雇用につながるものと捉えており、意見として申し上げる。
佐藤委員	「環境関連産業部門への進出件数」3件の実績は、どこの企業か。
環境部次長	秋田ペレット株式会社、ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社、株式会社ナチュラルエナジージャパンである。

黒崎委員	秋田犬ふれあい事業について、犬のスペースが狭く、ストレスが溜まると思うが如何か。
観光文化スポーツ部次長	秋田犬ふれあい処の環境については、これまでも様々な意見をいただいた経緯があり、例えば、他の犬との目線が合って喧嘩につながらないように低めの塀を設置するなど、改善策を講じてきている。今年はコロナの関係でふれあいが出来ない状況ではあるが、飼い主と相談しながら、ストレスがかからないような環境を整えてまいりたい。
佐藤委員	県・市連携文化施設について、指定管理の体制も決まりつつあるようだが、開館後のスタートアップに係る営業等はどのようになっているのか。コロナによるマイナス要素があるにしても、もう少し積極的に誘致・プロモーションを展開しなければ勿体ないとの声もあるが、具体的な動きについて分かる範囲で教えていただきたい。
人口減少・移住定住対策課長	可能な範囲での回答となるが、指定管理者が決まり、これから開館準備やプレ事業等を県と連携して進めていく中で、シアターを専門に扱うコンサルタント業者を交え、誘致・プロモーションを行うと聞いている。具体的な動き出しやスケジュール感については、詳細を把握していないが、専門の方の力を借りながら進めていくものと認識している。
佐藤委員	大型コンベンションは、3～4年前から準備に入るケースが多いことから、そうした動きが見えないように感じていた。
人口減少・移住定住対策課長	大型コンベンションに関しては、秋田観光コンベンション協会において、完成前の施設についてもパンフレット等を作成するなど、コンベンション誘致活動の中で広報していただいております。地道な取組を続けているものと認識している。
山崎委員	<p>「ビジネスチャンスをとらえた産業の創出」について、以前、タクシー会社の方が、冬場が忙しい一方で、夏場は余裕があると話していたことから、その逆が農業であるため、法人を立ち上げて二足の草鞋を履き、それを会社の売りにしても良いのではないかと提案したところ、前向きな反応があった。</p> <p>全く異なる業種の方に農業をプロモーションすることで、検</p>

	討のきっかけとなる可能性があるため、意見として申し上げる。
黒崎委員	「日常的にボランティアを行っている高齢者数」が増加した点について教えていただきたい。
福祉保健部次長	ボランティアセンターにおける登録方法が変わったことによるものである。
山口会長	指標の評価に係る凡例は、前年度比較となっているものの、策定時より実績が下がっている指標もあることから、そうした指標については定性的に評価し、今後に生かしていただきたい。意見として申し上げる。
人口減少・移住定住対策課長	議事(2)地方創生交付金および地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業の進捗状況について（資料2-1、2-2に基づき説明）
山口会長	資料2-1、2-2について、事務局への確認や質問等を含め、意見等はないか。
佐藤委員	感想に近い発言になるが、健康づくり事業については、実際に参加している人の評価が高いという印象である。例えば、「歩くべあきた」も、企業対抗という面があり、競争原理も働き、実際に皆楽しそうに取り組んでいる。コロナ対策に気を配りながら、地道に続けていけば、健康指標は上がってくると思われるため、もう少し健康に関する取組をアピールしても良いのではないか。
山口会長	「生涯活躍のひとづくり推進プロジェクト」の指標が移住者数だが、健康に係る指標の方が良かったのではないか。意見として申し上げる。
山口会長	東北6市連携事業およびクルーズ船誘致事業の実績を見ると、目標をかなり上回った指標もあるが、指標の設定自体が妥当であったのか、あるいは非常に効果が出たと理解すれば良いのか、捉え方は如何か。
観光文化スポーツ部次長	東北絆まつりについては、交流人口の拡大という視点であり、参加人員の増加は、純粋な効果であると理解いただきたい。

	<p>また、クルーズ船についても、寄港による消費部分であり、経済効果という視点で、判断いただければと思う。</p>
<p>山口会長</p>	<p>指標とは、達成が無理ではないが、頑張らなければ達成できないものであり、そうした指標値を設定したと理解している。今後、地方創生交付金活用事業の実施に当たり、指標を設定する際は、その点について検討すべきではないか。</p>
<p>人口減少・移住定住対策課長</p>	<p>東北絆まつりおよびクルーズ船の2事業は、いずれも他自治体との連携事業であり、それぞれ代表自治体が仙台市、秋田県である。連携事業は代表自治体が主導していることから、指標の設定に関してもコントロールが難しい面があったと認識しており、今後、本市が立案する際には、そうした点にも配慮の上、指標値の設定について検討してまいりたい。</p>
<p>議事(3)その他</p>	
<p>山口会長</p>	<p>その他として、事務局から何かあるか。</p>
<p>人口減少・移住定住対策課長</p>	<p>本日いただいた意見等については、本市として真摯に受け止め、今後の取組に生かしてまいりたい。</p> <p>今後のスケジュールとしては、本日の議論等をまとめた上で、9月議会に報告し、ホームページ上で検証結果を公表することとしている。</p> <p>引き続き、総合計画・地方創生懇話会において、総合計画・総合戦略等の策定作業を進めることから、協力をお願いする。</p>

4 閉会